

豊橋まちなか未来ビジョン

Beyond the Livable City

住みやすさの一步先へ



豊橋のまちなかは、豊川の恵みと東海道の宿場町、そして吉田城の歴史の上に、
地域の方々が自らの手で築き上げてきたまちです
現在の住みやすさを守り、活かし、より豊かな都市へと進むためには、
未来を切り開き続けていくことが重要となります
「豊かさに橋を架けるまち」として、単に住みやすいまちであるだけでなく、
これからの時代における新しい価値観、文化、暮らしを積極的に発信できるまちを、
わたしたち自身の力で築き上げていきます

未来ビジョンの実現方策

アクションプラン

未来のまちなかを実現するために
今後10年間で実現したい取り組みのアイデア

アイデア段階の取り組み

実現に向けて関係者を巻き込む取り組み

実現に向けて進んでいる取り組み

未来セッション

アイデア段階のアクションについて様々な人が参加するオープンな場で、学び、深める議論をすることで、次のステップへの可能性を考える場

共創プロジェクト

アクションを実現するため関係者が集まって、内容を具体化するための議論やプロジェクトメイキングを行う場

計画・準備・試行

アクションの実現に向けて、プロジェクトの計画や実施の準備、必要に応じて社会実験や実証を行う段階

実現

アクションの実現

アクションプラン

① にぎわいと文化を紡ぐ

- ①公共空間の利活用と整備により回遊性と滞在性を高める
- ②モビリティの接続強化により多様な施設や機能をつなぐ etc...

② 食と農でまちをつなぐ

- ①生産・加工・販売ネットワークとビジネスを支援する
- ②まちで食と農に関わる機会を増やし魅力を高める etc...

③ 暮らしの地図を描く

- ①子育てや健康教育機会を充実し暮らしの選択肢を増やす
- ②自治会やイベント等の情報を得やすくし暮らしとつなげる etc...

④ 学びと挑戦の場を育てる

- ①多様な人の活躍を応援しあらゆる場で参画機会を増やす
- ②実証実験や起業など挑戦しやすい環境を整える etc...

⑤ 未来を変えるチームを作る

- ①未来を議論するプラットフォームとまちの世話役を育てる
- ②まちのデータ基盤を作り情報発信を強化する etc...

2023年度、 まずは下記に取り組みます。

駅前大通の歩行空間充実プロジェクト

駅前大通の歩きやすさや滞在性の向上に向けた取り組みの展開

まちなかアクセス向上プロジェクト (公共交通・モビリティ)

今よりもっと便利にまちなかにアクセスしてもらうための取り組みの展開

食と農のまちなか展開ネットワーク化プロジェクト

生産者と飲食店・小売業のネットワーク構築とまちなかの魅力づくり

自治会・まちなか活動の デジタル情報発信プロジェクト

自治会活動・まちなか活動のデジタル化とまちなか内外への情報発信

空き家空き店舗活用促進プロジェクト

まちなかの空き家・空き店舗の活用を積極的に応援できる仕組みづくり

一緒に未来をつくっていきませんか？

発行：豊橋まちなか未来会議

設立：2022.03.30

令和4年3月30日に、産学官金民が連携して、まちなかの活性化に取り組むため、複数の協議会を統合して組成したまちづくり協議会。30年後のまちなかの未来を描いたビジョンの策定、まちなかのにぎわい創出・回遊性向上等に関する取組の協力・誘導等を実施していきます。

特に右記3点を重視しています

- 主体横断的な取り組みの推進
- 未知のテーマへのトライアル
- 様々な取り組みの情報共有・発信によるコミュニティの形成

豊橋まちなか
情報ステーション
HP→



事務局：株式会社 豊橋まちなか活性化センター MAIL: machinaka@toyohashi-cci.or.jp

まちなかの履歴

1497年	1869年	1888年	1906年	1925年	1945年	1950年	1952年	1964年	1968年	1969年	1970年	1974年	1978年	1990年	1998年	2008年	2013年	2020年	2021年	
今橋城(後の吉田城)築城	吉田藩から豊橋藩に改称	牟呂用水通水	市制施行	市内電車開通	豊橋大空襲	豊橋駅民衆駅としての営業開始	松葉公園整備	大豊ビル開業	東海道新幹線開通	名豊ビル開業	公共第1駐車場開業	豊橋ステーションビル開業	豊橋丸栄開業	公共第2駐車場開業	パーク500開業	豊橋駅改修東口駅前広場完成	新豊橋駅・ニコラフロント開業	こども未来館ここに開業	eM CAMPUS まちなか図書館・広場開業	2021年

30年後の
未来は？

30 years in the future

Work 働く

大都市へのアクセスがよく、大学や企業、行政が、実証実験や様々な協力をしてくれるので、豊橋に住みながら、東京にいるクライアントの仕事もこなせています

保育施設も小児科も家から歩いていける距離にあり、会社も柔軟な働き方を提案してくれるので、仕事を続けることができます

市内で夫婦ともにこれまでのキャリアを活かした職種に就くことができたので、東京から暮らしの拠点を移すことに決めました

この地域で魅力的な生産者と出会ったので、クラフトフードの新しいお店を出すことにしました

東海道沿いのお店のファンです。ここにしかないお店も多いので、時々無性に来たくります

毎月、名古屋から豊橋に来て、舞台を見に行ったあとに、美味しいお店でゆっくり感想を言い合いながら食事をするのが楽しみです

東京の取引先をオフィスに招くと、いつも食事やお土産の評判が良く、喜ばれます

豊橋市を宿泊拠点に、海から山まで遊びつくそうと思っています

emCAMPUSで学生の集まるイベントも多く、周りのお店の人や企業の人とも、友達になりました。下宿先からよくまちなかへ出かけてます

Enjoy 楽しむ

豊橋公園エリア

ここにこ・松葉公園エリア

東海道・新本町・花園エリア

広小路通エリア

駅前大通エリア

豊橋駅前エリア

豊橋西駅エリア

水上ビルエリア

職場も病院も保育施設も近いので、子どもが急に発熱しても、夫婦で協力して対応することができます

毎週まちなかでイベントがあり、その情報が自治会を通じて回ってくるので、隣の家族と一緒に遊びに行くようになりました

家が職場から歩いて帰れる場所にあるので、遅くまで飲んでも安心です

すぐ近くの生産地から安全でおいしい食材が手に入るの、家で料理をする機会が増えました

暮らす Live

まちなかの現状・課題・期待

- 現在のまちなかは、歴史や文化、都市機能の集積、そしてコミュニティの動きなど、様々な魅力にあふれています。
- しかし、商業機能の低下や滞在人口の減少などの問題もあり、将来の社会や地域変化にも対応していかなければ、その魅力は徐々に失われてしまう可能性もあります。
- 市民や関係者の多様な期待に応えるためには、問題や将来変化を克服し、より住みやすいまちを目指す努力が必要です。

現在のまちなか

市全体

- 温暖な気候・身近な自然
- バランスのとれた産業
- 高い満足度・暮らしやすさ

まちなか

- 歴史と文化の折り重なり
- 都市機能の集積
- コミュニティの動き

まちなかの問題と将来変化

まちなかの問題

- 商業機能の低下
- 来街・滞在人口の減少
- 歩行空間・回遊性の乏しさ
- 暮らしや緑へのニーズ

社会と地域の変化

- ウォークアブルなまちづくりの全国展開
- 持続可能性の希求
- 産業構造変化への対応
- 人口減少・少子高齢化

まちなかへの期待

より多様な魅力づくり
回遊性と滞在性の向上

人の流れと投資の誘導
暮らしの環境充実

学生や若者の関わり
人のつながりとチーム作り

Beyond the Livable City

Walkable City

- 公共交通機関をはじめとして、まちなかに様々な手段で気軽にアクセスでき、またまちなかから気軽に様々な目的地へと移動しやすいまち
- 居心地の良い公共空間がたくさんつながっており、高齢者や子育て世代も安心して回遊し暮らせるまち
- 生活施設や文化施設、商業施設、そして公園や憩いの場が密接し、歩いて暮らして楽しみが満喫できるまち

歩いて暮らせるまち



Selectable City

- 様々な業種や職種の雇用があり、このまちに定住しても、それぞれが思い描くキャリアを実現しやすい環境が整っているまち
- 子育てや介護を抱える方など、置かれた環境がどのようなであっても、自分の状況や意欲に合った働き方、暮らし方が選べるまち
- 学生や若い人が新しい文化や価値に出会い、また自分たちから挑戦や起業、発信する機会がたくさんあるまち

誰もが生き方を選べるまち



Edible City

- まちなかでも、安全安心で豊かな食へのアクセスができ、健康かつ社会や環境にやさしい暮らしが実践できるまち
- まちなかで暮らしていても、農業や食べ物に関わる機会がたくさんあり、暮らしに食の魅力があふれ、地域の農産物をしっかりと消費しているまち
- 食や農に関わる人や資源のハブとなり、農を活かした産業・企業や、新たな食文化を発信するお店が次々と生まれるまち場が密接し、歩いて暮らして楽しみが満喫できるまち

農と食がつながるまち



Cultural City

- 質の高い舞台や演劇、コンサート、スポーツ観戦の機会とまちの賑わいが組み合わさり、近隣地域から多くの方が楽しみにくるまち
- 多様な価値観にあった個性的なお店や人が連なり、通りや地域ごとに異なる魅力や文化、歴史が発信できるまち
- 東海道や手筒花火、祭りをはじめ、豊橋と東三河全体の歴史と多様な文化、生活文化が身近に感じられるまち

文化が重なり合うまち



Tolerance City

- 地域のコミュニティがしっかり育まれ、誰をも迎え入れ、ともに安全安心な暮らしを築いていけるまち
- まちづくりに様々な主体が志を持って積極的に関わり、次々と新しい挑戦を行い、受け入れることができるまち
- デジタルの活用により、まちなかの情報が積極的に発信されるとともに、東三河地域の玄関口として、他地域との交流がしやすいまち

寛容で豊かなまち

